

# 戦前日本の社会事業・社会福祉資料

## 第6期

### 農村社会事業

### 人身売買／芸娼妓酌婦紹介業

### 芸娼妓・酌婦／遊廓・花街

### 廃娼問題／婦人救済施設

## 大正期から昭和戦前期にかけての農山漁村の生活困窮問題、明治期以降の人身売買、芸娼妓、遊廓・花街、廃娼問題など婦人救済にまつわる幅広い諸問題の実態解明に寄与する基本資料を集成！

本シリーズは、明治から大正・昭和の戦前・戦中にかけての時期に、そこで営まれた人々の生活と社会の中で誕生し、展開された社会事業・社会福祉（その発端である慈善・救済を含む）にかかわる事象について、実態資料によって跡づけようとする試みである。

第6期の収録対象としたのは、①農村社会事業（山村・漁村含む）、②人身売買・身売／婦女出稼、芸娼妓酌婦紹介業（公周旋業）、③芸娼妓・酌婦、公娼・私娼、遊廓・花街、④廃娼問題、婦人救済施設、などの資料である。収録対象としなかったものも含む関連資料リストも完備し、第一人者による解説とともに、現在の社会福祉活動をルーツに遡って検証することを可能にするための、多角的な配慮がなされている。

わが国の社会事業制度形成の歩みを通覧し、今日的問題の歴史的淵源を明らかにするために必読・必備の基礎資料集成である。

[企画・監修] 寺脇隆夫（元長野大学・浦和大学教授）  
[編者] 野口友紀子（武蔵野大学教授）  
舟津悠紀（一橋大学大学院後期博士課程）  
[体裁] B5判上製・5600頁・全11巻  
[定価] 揃本体280,000円 ※分売不可、価格税別  
ISBN978-4-7601-5262-9

#### おすすめします

社会福祉学研究者 行政学研究者  
社会政策学研究者 日本社会史研究者  
生活問題研究者 大学図書館・公共図書館  
法学研究者

〒113-0033 東京都文京区本郷 2-15-13  
Tel.03-3830-1891 Fax.03-3830-5337  
URL <http://www.kashiwashobo.co.jp>  
E-mail [eigy@kashiwashobo.co.jp](mailto:eigy@kashiwashobo.co.jp)

# 柏書房

#### 〈本資料集の特長〉

- ・戦前期に作成された重要な基本資料を精選復刻。本シリーズにより、わが国の社会事業・社会福祉制度史の歩みが一望できる。
- ・わが国社会事業史・社会福祉史における幅広い分野の基礎資料を半年ごとに順次刊行。戦前期の日本社会全般の研究に活用可能な資料集として、新たなスタンダードとなる。
- ・各種調査資料や入手困難な文献資料も多数収録。幅広い研究に活用できる歴史文献データベースとして研究室必備の資料集。
- ・今後の研究の道標となるように、それぞれの分野の専門家による的確な資料解説を付した。

|   |  |
|---|--|
| 取 |  |
| 扱 |  |
| 店 |  |

## シリーズ／戦前日本の社会事業・社会福祉資料 刊行にあたって

寺脇隆夫

現在の社会福祉の歴史は、近代日本で「慈善事業」・「救済事業」と呼ばれた明治期から、大正～昭和期に発展・拡大した「社会事業」のあゆみとその営みに基盤がある。

日露戦争（1904～05）、米騒動（1918）などを契機に、急速な近代化への波が押し寄せ、人々の生活は新たな貧困や苦難にさらされる。しかし、それらに対処する行政施策や政策は不十分であった。そうしたなか、各分野で民間のさまざまな事業（施設・団体）が登場し、その活動が展開される。わずかながら行政、法制度にも変化がもたらされていく。こうして「社会事業」と呼ばれる営みが形成されていったのである。

だが、盧溝橋事件（1937）により日中戦争が本格化し、軍国主義化の波のなかで、社会事業は「厚生事業」へと変質し、太平洋戦争（1941）によって崩壊してしまう。しかし、第二次大戦後の社会事業の急速な復活・拡大は、新憲法による民主主義体制への変化も影響したが、戦前からの社会事業の基盤があってこそ可能になった。こうして、それらは「社会福祉」と呼ばれるようになったのであり、そうした歴史に学ぶものは数多いと考える。

本シリーズは、「社会事業」の登場から形成・発展にかかわる歴史を、当時（前史期含め50～60年程度）の社会事業の各分野・領域ごとに、それらのさまざまな実態を記録した基礎資料そのものによって物語ろうとするものである。文字通り、実証的な研究に役立つ資料集としたいと思っている。

特徴的なのは、以下の全体構想（案）に示すように90余にのぼる分野・領域ごとに細区分し、詳細に実態を見ることが出来るようにしたことである。そのため、刊行に長期的な期間を要する企画となった。

収録の対象としたのは、当時の社会事業に含まれる数多くの分野・領域での、①戦前期の社会事業体制にかかわる政策・行政、法制（案レベル含む）関係、②それらの事業（施設・団体）の活動や利用状況、③それらの背景となった人々の営みや生活実態など、を物語る基礎資料である。

本シリーズは半年ごとに1期ずつ刊行するが、シリーズとくに順番はなく、1期分は概ね2～4分野・領域の組み合わせとなる。各分野・領域ごとに資料リスト・資料・解説を添付するが、「資料リスト」は、非収録分を含めたものを掲載し、「資料」は紙幅の許す範囲で出来るだけ数多く掲載することにした。編者は、社会事業史研究のベテランから若手までの専門家40人余に委嘱し、その執筆になる「解説」で当該分野の流れや資料の位置づけを行なってもらった。

## 戦前日本の社会事業・社会福祉資料 刊行計画

- 第1期 保育・託児（常設） 子守学校／工場鉱山の保育 棄児・児童虐待【刊行済】
- 第2期 児童の生活状態 浮浪・家出・自殺／私生子 農繁期託児 障害児・障害児施設（上）【刊行済】
- 第3期 児童保護事業 児童相談 児童遊園・児童公園 障害児・障害児施設（下）【刊行済】
- 第4期 浮浪者・ルンペン・乞食 木賃宿・公的宿泊所 物価騰貴・米騒動／経済保護 公設市場 公益質屋 簡易食堂／公設浴場【刊行済】
- 第5期 住宅問題 住宅対策 隣保事業・セツルメント事業【刊行済】
- 第6期 農村社会事業 人身売買／芸娼妓酌婦紹介業 芸娼妓・酌婦／遊廓・花街 廃娼問題／婦人救済施設【2020年7月刊行予定】
- 第7期 女工・職業婦人（婦人労働者） 朝鮮人（内地居住）【2020年12月刊行予定】
- 第8期 内職・副業 授産事業・授産施設 女給【2021年6月刊行予定】

#### 本シリーズの収録内容

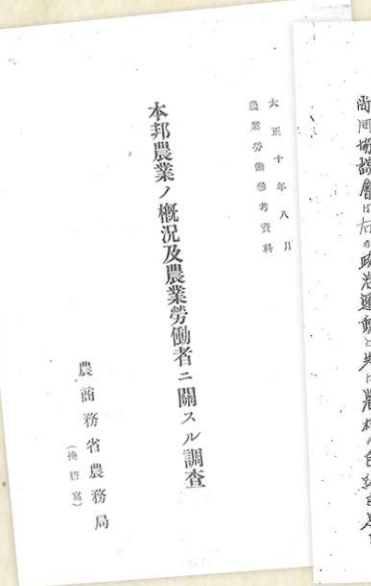
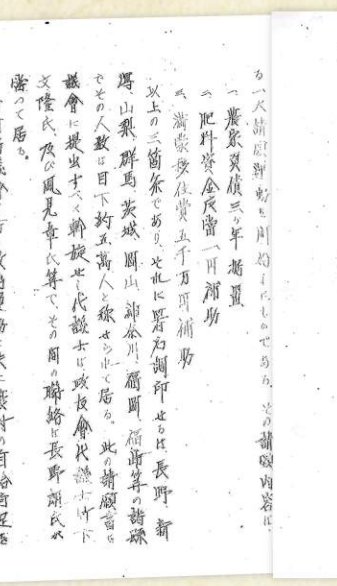
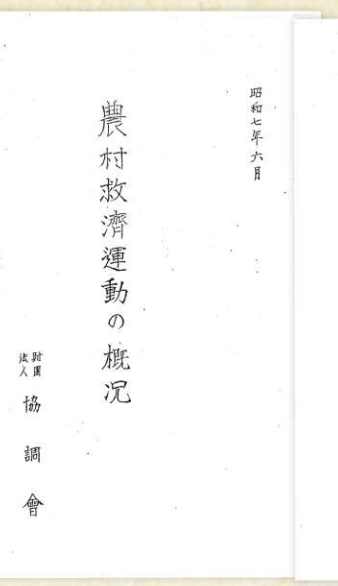
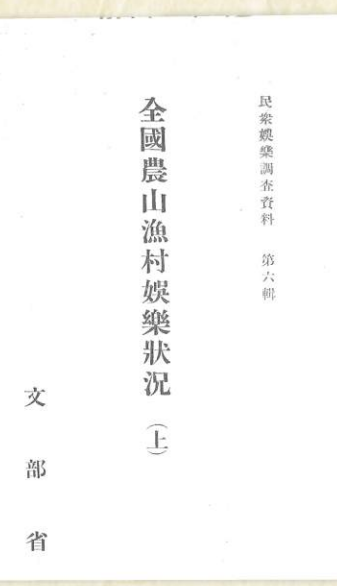
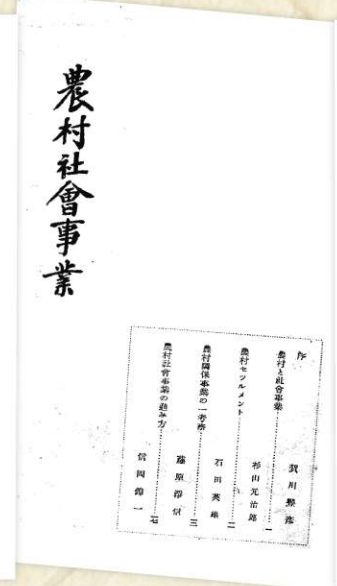
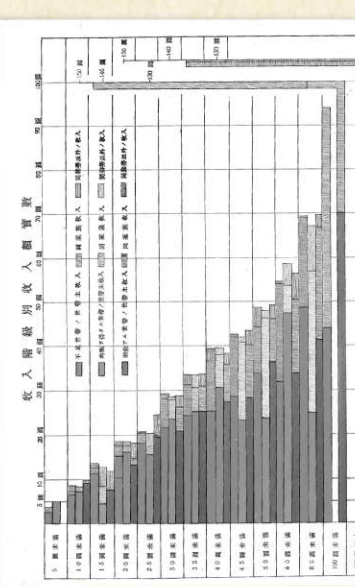
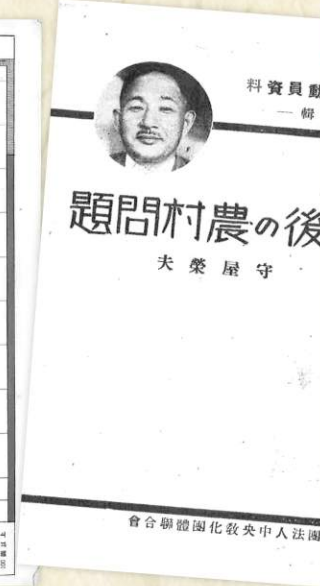
|  |   |  |  |
|--|---|--|--|
| 貧困・困窮者（救済・救護・保護／救護法）<br>浮浪者・ルンペン・乞食・行路病者【第4期】<br>木賃宿・公的宿泊所（無料、共同、簡易）【第4期】<br>紙屑拾い・パタヤ／残飯・残食物【第4期】<br>水上（海上）生活者／水上児童<br>貧民窟・スラム・不良住宅地区<br>不良住宅地区改良事業・改良後の生活状況<br>住宅困窮・住宅難（家賃問題）【第5期】<br>公営住宅／同調会住宅【第5期】<br>生計・家計状態<br>救済／軽費・実費診療／済生会<br>災害救助（震災・津波・大火）／罹災救助基金法<br>農業凶作・飢饉<br>産業災害・鉱工業災害／戦争災害<br>軍事救護／傷病者・遺家族援護／軍事救護法<br>軍事徴用・労働動員<br>職業紹介事業／職業補導（職業紹介法）<br>失業者・失業問題全般<br>自由労働者（日雇・日稼ぎ・立ちん坊）<br>職業婦人・婦人労働<br>物価騰貴・米騒動／経済保護事業全般【第4期】<br>公設市場【第4期】<br>質屋・公益質屋・無産者金融【第4期】<br>簡易食堂／公設浴場【第4期】 | 内職・副業<br>授産事業・授産施設<br>隣保事業・セツルメント事業【第5期】<br>農村社会事業（山村・漁村含む）【第6期】<br>乳児死亡／出生・死亡状況<br>妊娠婦・乳幼児保健（母子保健）<br>乳児保護・乳幼児保護<br>児童の生活状態【第2期】<br>浮浪・家出・自殺／私生子【第2期】<br>児童保護事業【第3期】<br>児童相談【第3期】<br>児童遊園・児童公園【第3期】<br>欠食・栄養不良／給食・栄養補給<br>病虚弱児・病虚弱児対策<br>障害児・障害児施設（上）【第2期】<br>障害児・障害児施設（下）【第3期】<br>保育・託児（常設）【第1期】<br>子守学校／工場鉱山の保育【第1期】<br>農繁期託児【第2期】<br>棄児・児童虐待【第1期】<br>児童養育・育児施設（育児院・孤児院）<br>昼夜乳児保育（乳児院）<br>里子・里親／家庭養育委託<br>貧児教育／不就学問題／就学奨励 | 児童（幼少年）労働・就業状態<br>小卒児童の進路・就職状況<br>少年職業紹介・就職後指導<br>不良児童・非行少年問題一般<br>感化院・少年救護院／感化事業<br>少年院・少年審判所／保護少年<br>幼年監獄・少年受刑者<br>母子保護／母子・父子ホーム<br>母子扶助／母子保護法<br>女中・家政婦／子守<br>人身売買／芸娼妓酌婦紹介業【第6期】<br>芸娼妓・酌婦／公娼・私娼／遊廓・花街【第6期】<br>廃娼問題／婦人救済施設【第6期】<br>女給・ホステス<br>養老事業・養老院／浴風会<br>盲・不具廃疾・精神薄弱（障害者）／啓成社<br>精神病者・同療養所<br>癩病（ハンセン氏病）者・同療養所<br>結核患者・同療養所<br>花柳病・性病／同対策<br>麻薬など薬物中毒者<br>出獄人・免囚保護／司法保護事業<br>朝鮮人（内地居住者）<br>社会保険（健保・年金） | 社会事業一般・名鑑／全国<br>社会事業一般・名鑑／地域<br>社会事業要覧・概要／全国<br>社会事業要覧・概要／北海道・東北<br>社会事業要覧・概要／関東・東京<br>社会事業要覧・概要／中部・東海<br>社会事業要覧・概要／近畿・関西<br>社会事業要覧・概要／中国・四国<br>社会事業要覧・概要／九州・沖縄<br>都市社会事業／都市社会行政<br>社会事業統計・統計関係<br>社会事業行財政／社会事業法<br>社会事業（施設）の奨励助成<br>各種委員制度（方面委員・救護委員など）<br>社会事業施設の連絡団体／社会事業協会<br>社会事業施設の沿革・年表／視察報告<br>社会事業施設の経営／寄附／共同募金<br>社会事業施設の入所利用者・処遇<br>社会事業施設の従事者・職員／功労者<br>その他（総合・全般）<br>戦時体制と社会事業の変容 |
|--|---|--|--|

※太字は刊行済、赤字は今期分です。収録対象の呼称は、主に当時の呼称を用いました。刊行時の表題は変更となる場合がございます。

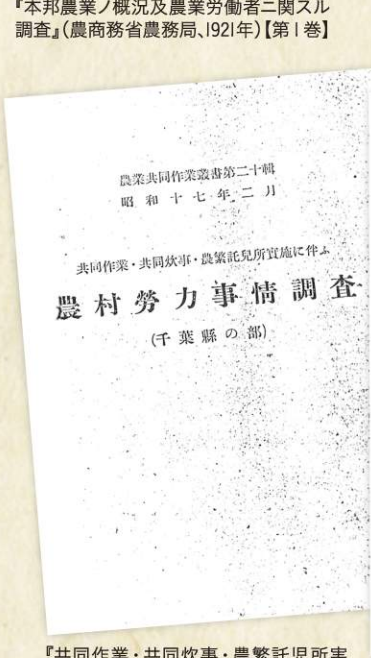
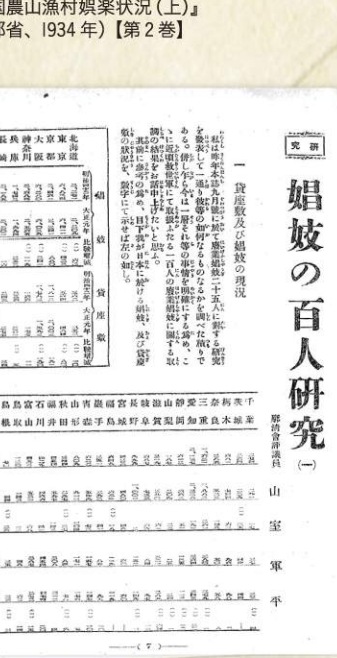
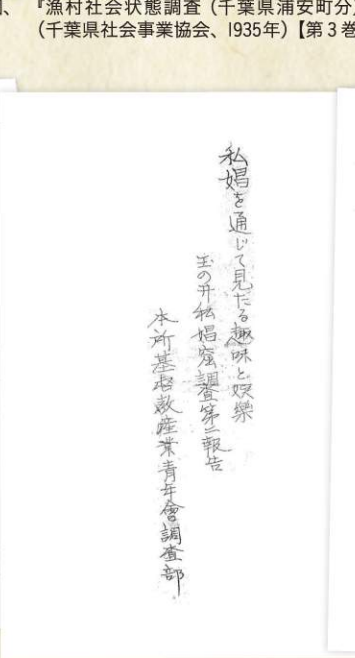
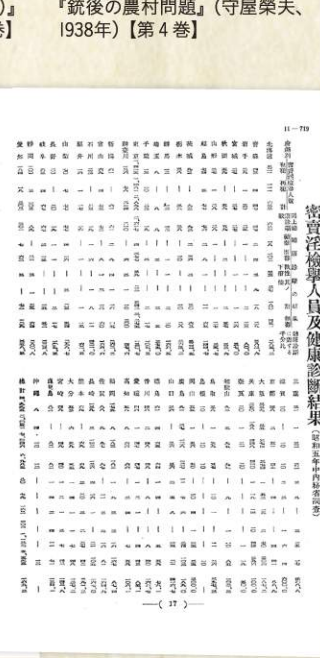
# 困窮化する農山漁村の生活、恐慌下で身売りや出稼ぎを強いられた女性たち……その救済はいかにして可能となったか

## 年表 農村社会事業・人身売買・娼妓酌婦・廃娼問題

|             |    |   |
|-------------|----|---|
| 1868 (慶応4)  | 4  | 討幕軍、江戸入城、6月版籍奉還   |
|             | 7  | 「江戸」を「東京」と改称、9月「明治」に改元  |
| 1871 (明治4)  | 7  | 廃藩置県 (当初は3府302県、88年12月に3府43県)   |
| 1872 (明治5)  | 7  | マリア・ルース号事件 (～10月清国苦力を引渡す)   |
|             | 10 | いわゆる芸娼妓解放令 (太政官295号、*新暦では11月となる)  |
|             | 11 | *11月(9日)の改暦の詔により、同年12月(3日)が1873(明治6)年1月(1日)となる。本年表でも、以後はこの「新暦」による表記を採用。 |
| 1873 (明治6)  | 12 | 「貸座敷渡世規則」「娼妓渡世規則」(東京府令45号)公布  |
| 1877 (明治10) | 2  | 西南の役 (9月西郷隆盛自刃、西南の役終わる)   |
| 1882 (明治15) | 5  | 群馬県会、廃娼を決議 (以後、廃娼運動各地に広がる)  |
| 1886 (明治19) | 12 | 東京婦人矯風会設立 (～93.4 日本基督教婦人矯風会)  |
| 1890 (明治23) | 5  | 全国廃娼同盟会結成   |
| 1891 (明治24) | 10 | 濃尾大地震 (死者7千余人)  |
| 1894 (明治27) | 8  | 日清戦争 (95.4 講和条約)  |
| 1895 (明治28) | 11 | 日本救世軍、機関誌(ときの声)発刊   |
| 1896 (明治29) | 6  | 三陸地震・大津波 (死者2万7千余人)   |
| 1900 (明治33) | 2  | 大審院、娼妓の自由廃業を認める判決   |
|             | 10 | 「娼妓取締規則」(内務省令44号)公布   |
|             | 2  | 日露戦争 (～05.9 講和条約)   |
| 1904 (明治37) | 秋  | 東北大凶作   |
| 1905 (明治38) | 8  | 大阪北管根崎新地・遊廓全焼、移転・再建反対運動   |
| 1909 (明治42) | 8  | 日韓併合条約、朝鮮の植民地化 (～45.8 迄)  |
| 1910 (明治43) | 4  | 東京・吉原遊廓大火で焼失、再建反対運動→7月廓清会結成   |
| 1911 (明治44) | 7  | 「大正」と改元   |
| 1912 (明治45) | 秋  | 北海道東北地方大凶作  |
| 1913 (大正2)  | 7  | 第一次世界大戦 (～18.11 終結)   |
| 1914 (大正3)  | 6  | 大審院、「芸妓稼業契約」の無効判決   |
| 1915 (大正4)  | 2  | ロシアで革命、帝政崩壊 (11月ソビエト政権)   |
| 1917 (大正6)  | 10 | 芸娼妓の前借金契約は独立の借金契約なら有効と判決  |
| 1920 (大正9)  | 1  | 千葉地裁、芸娼妓にするための養子縁組に無効判決   |
| 1922 (大正11) | 4  | 日本農民組合結成 (小作争議増加、新潟県木崎村など)  |
|             | 5  | 宮城控訴院、芸妓契約無効判決 (12歳で芸妓になった娘の事件)   |
|             | 9  | 関東大震災 (死者など14万人余)   |
| 1923 (大正12) | 7  | 「小作調停法」公布   |
| 1924 (大正13) | 12 | 婦人児童売買禁止条約 (条約17号)、批准   |
| 1925 (大正14) | 6  | 廓清会・婦人矯風会連合結成   |
| 1926 (大正15) | 10 | 全国廃娼大会 (代表500余参加、12月「昭和」に改元)  |
|             | 4  | 「花柳病予防法」公布  |
| 1927 (昭和2)  | 6  | 全国廃娼同志大会  |
| 1928 (昭和3)  | 10 | 世界大恐慌始まる (ニューヨークで株式大暴落)   |
| 1929 (昭和4)  | —  | 昭和恐慌・大不況 輸出激減・工場操業短縮・失業者激増  |
| 1930 (昭和5)  | —  | 農業恐慌・農産物価格下落  |
|             | —  | 全国26府県に廃娼同盟生まれる   |
| 1931 (昭和6)  | 6  | 国際連盟・ジョンソン博士ら、吉原遊廓など視察  |
|             | 9  | 関東軍、柳条湖で線路爆破 →「満州事変」  |
|             | —  | 東北・北海道冷害・大凶作 →身売・欠食児・家族心中激増   |
| 1932 (昭和7)  | 1  | 救護法施行   |
|             | 5  | 農村救済請願運動、63回議会、「時局匡救決議」採択   |
|             | 10 | 「農山漁村経済更生計画助成規則」公布  |
| 1933 (昭和8)  | 3  | 三陸地方で地震・大津波 (死者など3千余)   |
|             | 3  | 国際連盟、日本軍の満州撤退勧告 →日本、国際連盟脱退  |
| 1934 (昭和9)  | 秋  | 東北・北海道冷害・大凶作 (娘身売・欠食児童など増加)   |
|             | 11 | 西日本干害、風水害 (室戸台風など)  |
|             | 11 | 内務省、身売り防止策の通牒発出   |
|             | 12 | 「凶作地に対する政府米臨時公布法」公布   |
| 1935 (昭和10) | 2  | 廃娼同盟、国民純潔同盟にと改称   |
| 1936 (昭和11) | 7  | 社会事業調査会、「農村社会事業の振興」を決議  |
| 1937 (昭和12) | 7  | 中国盧溝橋で日中両軍衝突 (「盧溝橋事件」)、日中戦争本格開始   |
|             | 12 | 日本軍進攻した南京で、多数の市民虐殺 (「南京事件」)   |
| 1938 (昭和13) | 1  | 内務省社会局 →厚生省設置   |
|             | 4  | 「国家総動員法」公布  |
| 1939 (昭和14) | 1  | ドイツ軍、ポーランド侵攻 →第二次世界大戦開始   |
| 1940 (昭和15) | 3  | 農村隣保施設を勧奨・補助  |
|             | 8  | 日本救世軍、救世団と改称  |
|             | 9  | 日独伊三国同盟調印、大政翼賛会発会   |
| 1941 (昭和16) | 2  | 救世団、日本基督教団に合流   |
|             | 12 | 日本軍、真珠湾奇襲攻撃 (太平洋戦争開始)   |
| 1945 (昭和20) | 1  | ドイツ、無条件降伏   |
|             | 8  | 日本、ポツダム宣言受諾・降伏 (第二次世界大戦終了)  |

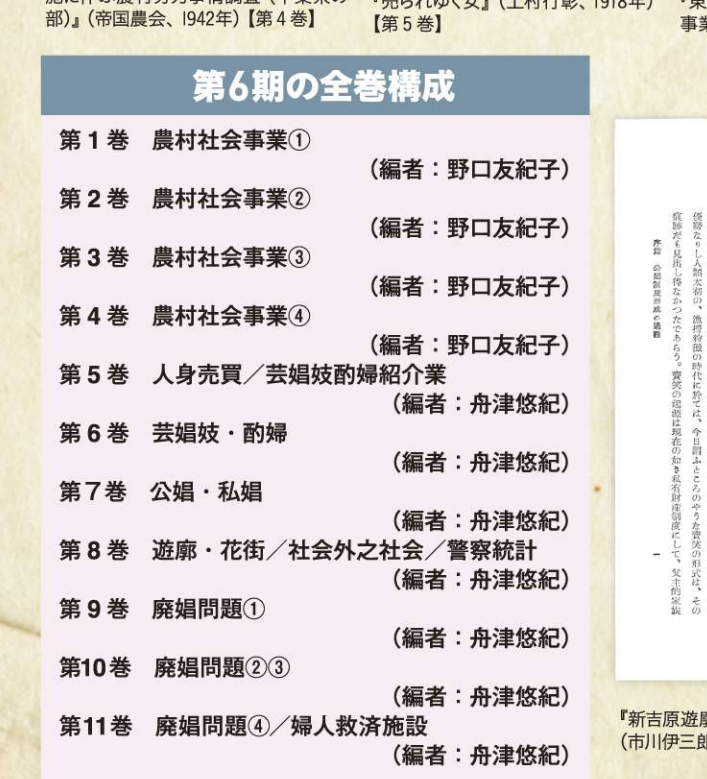
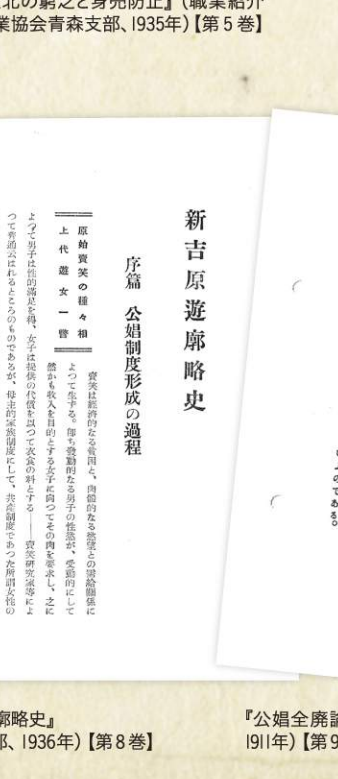
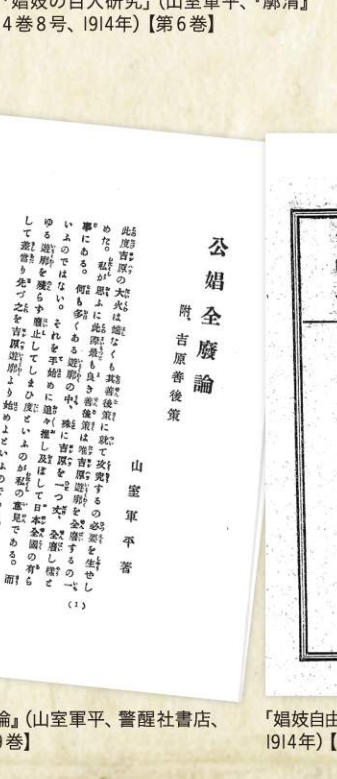
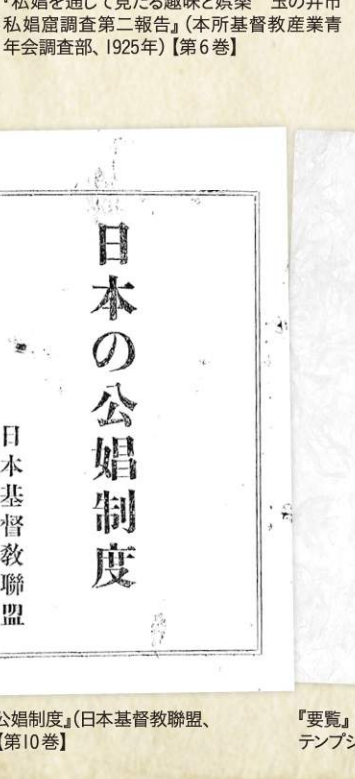


『本邦農業ノ概況及農業労働者ニ関スル調査』(農商務省農務局、1921年)【第1巻】 『農村救済運動の概況』(協同会、1932年)【第2巻】 『全国農山漁村娯楽状況(上)』(文部省、1934年)【第2巻】 『農村社会事業』(朝日新聞社会事業団、1934年)【第3巻】 『農村社会状態調査(千葉県浦安町分)』(千葉県社会事業協会、1935年)【第3巻】 『戦後の農村問題』(守屋榮夫、1938年)【第4巻】 『共同作業・共同炊事・農繁託児所実施に伴ふ農村勞力事情調査(千葉県)』(帝國農会、1942年)【第4巻】 『売られゆく女』(上村行彰、1918年)【第5巻】 『東北の窮乏と身売防止』(職業紹介事業協会青森支部、1935年)【第5巻】 『娼妓の百人研究』(山室軍平、1914年)【第6巻】 『各地方ニ於ケル接客婦ニ関スル概況』(内務省衛生局、1923年)【第6巻】 『私娼を通じて見たる趣味と娯楽 玉の井市私娼窟調査第二報告』(本所基督教産業青年会調査部、1925年)【第6巻】 『密売淫検挙人員及健康診断結果(昭和五年中内務省調査)』(『廓清』22巻5号、1932年)【第7巻】



### 第6期の全巻構成

|      |                   |            |
|------|-------------------|------------|
| 第1巻  | 農村社会事業①           | (編者：野口友紀子) |
| 第2巻  | 農村社会事業②           | (編者：野口友紀子) |
| 第3巻  | 農村社会事業③           | (編者：野口友紀子) |
| 第4巻  | 農村社会事業④           | (編者：野口友紀子) |
| 第5巻  | 人身売買・芸娼妓酌婦紹介業     | (編者：舟津悠紀)  |
| 第6巻  | 芸娼妓・酌婦            | (編者：舟津悠紀)  |
| 第7巻  | 公娼・私娼             | (編者：舟津悠紀)  |
| 第8巻  | 遊廓・花街/社会外之社会/警察統計 | (編者：舟津悠紀)  |
| 第9巻  | 廃娼問題①             | (編者：舟津悠紀)  |
| 第10巻 | 廃娼問題②③            | (編者：舟津悠紀)  |
| 第11巻 | 廃娼問題④/婦人救済施設      | (編者：舟津悠紀)  |



『新吉原遊廓略史』(市川伊三郎、1936年)【第8巻】 『公娼全廢論』(山室軍平、警醒社書店、1911年)【第9巻】 『娼妓自由發業案』(『廓清』4巻11号、1914年)【第9巻】 『日本の公娼制度』(日本基督教聯盟、1925年)【第10巻】 『要覽』(ジャパン・レスキュー・ミッション、ジョージ・テンブシー編集発行、1939年)【第11巻】